



第21回オリンピック冬季競技大会(2010/バンクーバー)女子スノーボードクロス日本代表

ど い な つ こ  
土井 奈津子 さん

SAJ22 承認第 713 号



▲レース中に他選手と競い合う土井さん



SAJ22 承認第 626 号

▲母校の稲北高校で行われた壮行会で笑顔



SAJ22 承認第 714 号

▲障害物を乗り越えながら滑ります

ジャンプ台や急カーブなど、複数の障害物が設置されたコースを4人同時に滑り、上位2人が勝ちあがっていくスノーボードクロス。土井奈津子さんは同競技の女子日本代表として、今年の2月にカナダで開催されたバンクーバーオリンピックに初出場し、準々決勝まで進み14位と健闘しました。

土井さんは手稲区生まれで、「幼いころは網を持って走り回っていましたね。中の川でたにしを捕ったりしました」と言います。また、北海道札幌稲北高校在学時には女子バスケットボール部に所属し、主将としてチームを全道大会に導きました。

スノーボードとの出会いは高校2年生のとき。同級生の友人に誘われたのがきっかけです。その後、「負けず嫌いの自分の性格に合っている」と競技の世界に入り、2003年にはワールドカップ(W杯)に初参戦。その頃からオリンピックへの出場を意識し始めましたが、前回のトリノオリンピックでは代表に選出されず悔しい思いをしました。しかし、「自分の力を全て出し切れていない」との思いを胸に厳しいトレーニングを積み、バンクーバーへの切符を手に入れました。

レース中には他選手との接触、転倒などの危険があり、いつも怪我と背中合わせです。しかし、土井さんは「それがクロスの魅力で、私もそこに惹きつけられました」と語ります。「これから先のことはまだ考えていませんが、最近自分の体とうまく付き合えるようになってきているし、まだ限界ということはありません」と力強い一言。これからも土井さんの挑戦は続きそうです。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎681-2400内線224 FAX681-6639